目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れない様に、支援が出来ていない。	これまで培ってきた人間関係や社会との関係を大切に、具体的かつ積極的に関係継続の支援が出来る様に行う。	入居時に馴染みの場所や人物について家族から聞き取り把握する。友人・知人の面会時は、見守り支援を行ったり、いきつけの商店や図書館に同行するなど、一人ひとりの生活習慣を尊重し、外出の機会が多くなるようにする。	6ヶ月
2		災害対策 火災や地震・水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に着けるとともに、地域の協力体制を築いていく。	事業所だけの訓練ではなく地域住民の参加・協力を得られるよう、運営推進会議や自治会などで呼びかけを行う。	土砂災害や水害・台風などへの具体的な想定や対策についてのマニュアルを作成し、職員へ回覧する。運営推進会議の際に、地域の代表者へその旨を説明し協力をしていただく。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。